

3月定例会で提案された議案に対し、5名の議員が質疑を行い、不明確な点を問い、説明を求めました。主なものを紹介します。

議案第1号 農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて



森元 清蔵 議員
(21 政会)

問 今回9人の委員が選定されているが、この選定経緯をお尋ねする。

答 農業委員は、従来の公選制を廃止し、市議会の同意を得て、市長が任命します。市長は、農業者、農業者が組織する団体、その他の関係者に対し、候補者の推薦を求めると共に、農業委員になるようとする者の募集を行い、その結果を公表します。平成30年1月5日から2月2日まで募集を行い、10名の応募がありました。うち8名が推薦を受けての応募で

す。推薦団体は、区長会、JA兵庫みらい、加古川西部土地改良区、加西市集落営農組織連絡協議会、認定農業者団体などです。選考委員会を設置し、認定農業者が過半数を占めること、利害関係を有しない者が含まれること、年齢、性別などに偏りが生じないこと等に配慮しながら、候補者の推薦、応募理由などを審査し候補者を決定しました。

問 今後は、認定農家がリードする方向に農業委員会として力を入れていくと思うが、小規模農家の声も農業委員会に反映することも必要と思う。今後の新たな農業委員会の運営についてお尋ねする。

答 6月2日から農業委員9人と農地利用最適化推進委員15人で運営していくこととなります。農業委員に、地域農業に積

極的に取り組んでいる認定農業者が就任することで、将来的に広範囲の集積を見据えた意見を反映させることとなります。ただ認定農業者の意見だけでなく、農地利用最適化推進委員も、担当地域の実情や一般農業者の意見を会議に出席して述べるすることができます。認定農業者以外の中立者、女性、若者の農業委員の意見も反映されることから、幅広い意見が交わされると考えます。農業委員会の運営の方向としては、農地利用の最適化、農地の集積等の推進が最も重要な事務であることから、認定農業者への集積を見据えた農地集積の方向になっていきます。農地の集積に向け、農業委員と農地利用最適化推進委員が意見を交えることで、農地のよりよい集積に向けて協議できる場となるよう努めたいと考えます。

議案第35号 平成29年度加西市一般会計補正予算(第7号)・ 議案第41号 平成29年度加西市病院事業会計補正予算(第1号)について



深田 真史 議員
(市民連合)

問 平成28年度の3億円追加支援以降、市長が指示した経営改善の具体的な内容は。

答 (市長) 基本的に9億円の繰出金で経営してほしいというのが市の考え方です。その中で、病床機能の変更等、経営の方向性については、事業管理者、院長と議論しながら定め、こちらから一方的に指示はしていません。

問 2回目の3億円の追加支援にあたり、具体的な改善内容は。

答 (市長) 私が一方的にこうしなさいと指示することだと思っていません。事業管理者に経営権・人事権をお任せしており、経営が好転するようやっていく責任は事業管理者にあります。2年追加支援することになり、看護師数や病床数をどうするかを含めた議論を今しております。

問 職員数の適正化について、この1年でどのような努力をしたのか。

答 今後は看護師や介護福祉士、介護助手のバランスをとりながら、コストパフォーマンスの高い人材配置に努めていきます。

問 この1年で病院スタッフの給与体系や諸手当は見直しをしたのか。



答 給与カット等は行ってはおりません。経営改善した他の病院では、職員給与のカットに踏み込んだ病院は非常に少ないと聞いています。職場のモチベーションが下がり、患者も受け入れられなくなり、人間関係やコミュニケーションが悪くなったと聞いています。



問 病院事業管理者兼病院長としての経営責任は。

答 (病院事業管理者) 多くの職員の協力を得ながら改善を図ってきましたが、29年度前半の入院患者数が非常に少なく、大きな赤字を出してしまったことは私の責任だと思います。平成30年度は、繰入金で9億を超えないよう努力していきます。